

# 仕様書

新エネルギー部

## 1. 件名

風車故障事故の実態と原因解明・早期復旧に関する国内外の動向調査

## 2. 目的

本事業では、国内風車のダウンタイム及び運転維持コストの低減さらに発電量向上を目指し、国内外の陸上および洋上風力発電の故障・事故の情報収集を行い、その実態と原因解明・早期復旧に関する動向を調査し、発電コスト低減に寄与することを目的とする。

## 3. 内容

上記の目標を達成するため、以下の項目について実施する。

### (1) 国内風車（洋上、陸上）事故の実態と原因解明および早期復旧に関する動向調査

日本国内に設置されている風車を対象として、事故に関する実態調査として以下の項目及び目標達成に必要な項目について、調査を実施する。調査対象年度は、調査実施年の前年度分であることに留意（2023年度実施の場合、調査対象は2022年度分となる）。なお、調査項目の内容や調査結果の評価については、有識者から意見を得てそれを反映させること。

- ・故障・事故の発生要因
- ・故障・事故の発生日
- ・風車停止期間
- ・運開から故障・事故発生までの期間
- ・故障・事故発生時の気象
- ・故障・事故発生時の風況
- ・故障・事故の発生場所、地区区分
- ・対象風車規模
- ・故障・事故発生部位
- ・被害状況
- ・復旧処理対策
- ・復旧に要した費用
- ・原因解明に関する調査および検討評価
- ・早期復旧に関する調査および検討評価

※調査結果については年度毎に報告書（PDF形式）にとりまとめ、提出すること。報告書はNEDOのHPで公開する。また、事業終了年度には5カ年度分をまとめて提出すること。

- ・風車故障事故と原因解明に係わるデータベース（DB）の作成

※DBのファイルは、NEDO HPからダウンロード可能なものとし、毎年度に作成し提出すること。

### (2) 海外動向調査

国際エネルギー機関風力技術協力プログラム(IEA Wind)を通じて、情報収集を行う。

また、IEA Wind 国内委員会（年度毎に3回程度）の運営やIEA Wind セミナー（年度毎に1回程度）等を実施し、日本が参加する Task の管理、収集した情報のとりまとめ、整理、国民への成果の公表等を行う。

#### 4. 調査期間

NEDOの指定する日（2023年度）から2027年度までの5年間

#### 5. 報告書等

3.（1）の調査結果に係る報告書とは別に、2023年度、2024年度、2025年度及び2026年度終了時には、中間年報の電子ファイル（PDFファイル形式）を、2027年度終了時には成果報告書の電子ファイル（PDFファイル形式）を所定の期日までに提出すること。

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

また、調査期間中にはNEDOが求める内容について随時報告を行う。

#### 6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上